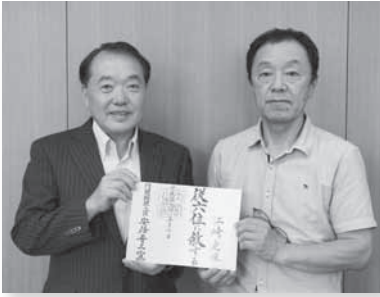




故 江崎光雄さんに
叙勲[叙位・従六位]を伝達



故江崎光雄さんに対する叙勲「叙位・従六位」受章伝達式を7月3日に行い、市長から遺族の江崎篤さんに伝達しました。江崎さんは、昭和47年4月から平成15年3月までの連続8期31年間、美山町選挙管理委員会委員として地方自治の発展に尽くした功績が認められ、平成16年秋に叙勲「旭日双光章」を受章。5月10日に亡くなったことに伴い、このたびの受章となりました。



村瀬 貴紀さん 市長 浅野 卓郎さん
中里 陽太さん 鳥澤 隼斗さん 大橋 朋花さん

繋がる絆 魅せよう僕らの若き力
高校総体へ高校生7人が出場
東北地方で行われる平成29年度全国高等学校総合体育大会に出場する選手7人のうち5人が、7月11日、市長を表敬訪問しました。
訪問した選手は男子バレーボー

ルの中里陽太さん(県立岐阜商業高①)、弓道の浅野卓郎さん(関商工高③)、自転車競技の鳥澤隼斗さん(岐南工業高③)、空手道の村瀬貴紀さん(富田高③)、アーチェリー女子の大橋朋花さん(聖マリア女学院高③)です。
そのほか、田浦叶大さん(岐南工業高①)と岡田英将さん(同校③)がレスリングで出場します。
市長は「これまで戦ってこられた環境をつくった家族の皆さんなどに感謝しながら、山県の代表として頑張ってきてほしい」と激励。
選手たちは「上級生として、後輩のケアも含めて全国を戦いたい」「初のインターハイなので、3年間のすべてを出し切りたい」「全力で、かつ楽しんで1番の高みを目指したい」などと大会に向けての抱負を語りました。

社会を明るくする運動
書道展表彰式



7月25日、高富中央公民館で第67回社会を明るくする運動書道展表彰式が行われました。
社会を明るくする運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。
表彰式では、岐阜保護観察所長賞をはじめ、8つの賞について、市内書道塾に通う小中学生64人が表彰されました。

クラブチームの3人が野球
全国大会出場を報告



7月10日、岐阜ブルーブスヤングベースボールクラブに所属する山内優成さん(高富中②)、村井桃矢さん(同校②)、藤岡弘将さん(同校②)が全日本少年硬式野球連盟の全国大会「第5回ヤングリーグジュニア選手権大会」の出場報告に訪れました。3人は、「チームの目標は、全国大会で1回戦突破。個人個人が活躍し、チームの勝利につなげたい」と抱負を語りました。教育長は、「全国大会に出場することはまたとない成長の機会。みなさんの成長を楽しみにしています」と励ましの言葉をかけました。

梅田沙成さんが卓球
全国大会出場を報告



7月10日、梅田沙成さん(高富小⑥)が「全農杯平成29年度全日本卓球選手権大会」の出場報告に訪れました。
梅田さんは、高富卓球スポーツ少年団に所属し、5月5日に行われた県の予選を突破し、全国大会への切符を手に入れました。梅田さんは、週5日間、同少年団で練習に励んでおり、「目標としていた全国大会に出場できることになってうれしい。練習の成果を大会で発揮できるよう頑張りたい」と、教育長を前に抱負を語りました。

成年後見制度の利用支援と 地域福祉の充実に向け協定



6月22日、市役所で「ぎふ権利擁護センターとの連携に関する協定」締結式を行いました。この協定は、認知症や障がいなどにより判断能力が不十分な人の権利を守る「成年後見制度」の利用支援を行うとともに、生活上の多様な課題の支援に対し、連携・協力することにより、判断能力が低下しても安心して暮らせるまちづくりの推進を目的としています。締結式では、市長と岡川毅志代表理事が協定書を取り交わし、市長は「市民の安心感につなげたい」、岡川代表理事は「成年後見制度の利用支援だけでなく、地域福祉の充実に向けて取り組んでいきたい」と語りました。

力を合わせて「ドスコイ」 保育園児と力士のふれあい事業

6月30日、四国山香りの森公園で、「くおすもうさんと勝負だ！」大相撲山県場所」を行いました。この行事は、大相撲名古屋場所の開催に合わせて、出羽海部屋から三段目の希帆ノ海さん、久之虎さん、出羽東さんを招待したもので、市内の7つの保育園から年長児139人が参加し、力士と触れ合いました。数人がかりで力士と対戦し、力を合わせて力士を押し出すと園児や保護者などから歓声が上がりました。



富岡小と岐阜女子大学が 一緒に、かかし作り



7月11日、富岡小学校の児童と、岐阜女子大学稲作研究会の学生が、かかし作りを行いました。同校3年生の授業の一環で、平成21年から続く恒例行事です。

同大学の学生たちは、かかしができた歴史を児童に説明し、その後児童が持ち寄った古着や小物などを使い12基のかかしを作成しました。参加した児童は「自分たちの作ったかかしが、実際に田んぼに立っている姿を見るのが楽しみ」と話していました。

完成したかかしは、同大学が借りている大学付近の田んぼで稲の成長を見守ります。

川の中にはなにがにいるかな？ 伊自良北小 生き物調査

7月12日、生原川横の農業用水路で伊自良北小学校3、4年生10人が、岐阜農林事務所との職員と一緒に「田んぼの生きもの調査」を行いました。調査ではボランティア団体の「どろんこ探検隊」からタモや網の使い方などの説明を受け水路へ入り、カワムツやアブラボテ、カワニナなど11種類を捕獲しました。

児童からは「いろいろな魚の名前や特徴が分かった」など感想が聞かれ、きれいな水に生息する生き物や絶滅危惧種が見つかったことで、児童たちは周辺の川の水がきれいであることを実感していました。



— Life is sweet! — 生きる楽しみを伊自良から発信



7月14日、若者の自立支援活動を行っているグループホーム「青空」で、「生きる楽しみを伊自良から発信」と題し講演会が行われました。

当日は、ガーナで子どもたちの支援活動を行っている国分敏子さんが講演し、グループホーム周辺の地域住民などが参加しました。

講演会に参加した人は、「楽しく生きていくために、まず、自分を大切にすることからはじめたい」と感想を語りました。

元気に、爽やかに

みんなでラジオ体操

7月16日、市役所前のみんなのげんき広場で「第4回山県市ラジオ体操・みんなの体操会」を行い、市民約350人が参加しました。

当日は、岐阜県ラジオ体操連盟理事の鷲見明俊さんを講師に迎え、体操のポイントレッスンの後、ラジオ体操第1・第2・みんなの体操を行いました。

また、各地区でもラジオ体操会を行い、延べ約1,900人の市民が参加し、爽やかな朝を迎えることができました。



富岡小 東海環状自動車道の

工事現場を見学



7月18日、富岡小学校の児童が、東海環状自動車道の工事現場を見学しました。児童は4班に分かれ、橋りょう下部の工事状況の説明を受け、12メートルに達する高所作業車による現場見学をしました。

また、測量機器を使って目標物を見たり、建設機械への試乗を行いました。見学会に参加した児童は、「高所作業車が思っていたより高く上がって怖かった。測量機器のぞいたら遠くの物が大きく見え」と話していました。

燈す ～とむす～

地域の絆をつなぐ灯火

7月15日、伊自良長滝地区の甘南美寺で竹燈籠を作成するワークショップが行われ、7月22日には、作成した竹燈籠に明かりをつけるイベント「燈す」が行われました。

このイベントは、昨年から引き続き2回目の開催で、地元の地域活性化を目的に活動する長竹会と長滝自治会が主催しました。

日が暮れ真っ暗になった境内を、およそ1,500基の竹燈籠がほのかに照らし、イベント会場は神秘的な雰囲気となりました。



ミルママさんを募集しています！

「ミルママ」をご存知ですか？

「ミルママ」は、乳幼児健診や乳幼児教室で、親と子どものサポートをしています。

ミルママさんは、子育ての先輩ママたちで、子どもが大好きで「ママたちの力になりたい」と活動しています。時にはママたちの悩みに耳を傾けることもあり、ママたちの心強い味方です。現在、ミルママさんとして活動できる人を募集中です。



7月に行われたミルママさんの交流会

子育てが「孤育て」と言われるほど、相談できる人が周りに少なく、いろいろなことを一人で抱え込んでしまうママたちもいます。そんな時に、ちょっと頼れる人がミルママさんです。ミルママさんがたくさんいれば、もっともっと山田市が子育てしやすい市になります。

一緒に、地域で子育て世代を応援しましょう。

また、ミルママさんなど、子育て支援者向けに研修も行っています。9月には発達障がいについて、11月には救命救急とアレルギーについて学びます。

「ミルママ」への応募や研修について、詳しくは、高富児童館まで問い合わせてください。

地域包括支援センターだより

正しく知ろう！認知症

認知症は、老化現象と思われがちですが、脳の障がいによって起こる『病気』です。早めに気づいて適切な治療を開始できれば、その後の症状の進行を遅らせることができます。

<加齢による物忘れと認知症の記憶障がいとの違い>

加齢による物忘れ	認知症の記憶障がい
・経験したことが部分的に思い出せない	・経験したこと全体を忘れている
・目の前の人の名前が思い出せない	・目の前の人が誰なのかわからない
・物の置き場所が思い出せないことがある	・置き忘れ、紛失が頻繁になる
・何を食べたか思い出せない	・食べたこと自体を忘れている
・約束をすっかり忘れてしまった	・約束したこと自体を忘れている
・物覚えが悪くなったように感じる	・数分前の記憶が残らない
・曜日や日付を間違えることがある	・月や季節を間違えることがある

もしも家族が認知症にかかってしまったら。

大切な家族だからこそ、自分たちでなんとかしてあげたいと思う気持ちもありますが、身内だからこそ感じる苦勞もあるものです。

- どうせ治らないから…と諦めないで専門医療機関に受診しましょう。
- 本人や家族だけで抱え込まず包括支援センターまで相談してください。

9月の認知症カフェ開催予定(市委託事業) 閩健康介護課 Tel.22-6838

カフェの名称	場 所	開催日時
花笑みカフェ	東深瀬859番地11 花笑みカフェ内	毎週水曜日 6日、13日、20日、27日 9時30分～11時30分
オレンジカフェひだまり	大門895番地1 喫茶シャルマン内	第3・5金曜日 15日、29日 13時30分～15時
オレンジカフェ	中洞310番地2 食事処 山務内	第2・4水曜日 13日、27日 14時～16時